

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 主日礼拝 NO.1158 2021年2月7日

牧師 山本護 奏楽 山本恵美 第一部礼拝 司式 竹内雅子 9:30~10:30  
 ※讃美は二番まで歌います 第二部礼拝 司式 清水由可 11:00~12:00

前	奏	黙想	讃美歌	294	みめぐみゆたけき
讃美歌	18	せいなるみかみは	献金		
祈	禱		讃詠	547	いまささぐるそなえものを
聖書	創世記	3:22~24	黙禱		
	コリントの信徒への手紙一	8:4~6	主の祈り	564	
讃美歌	512	わがたましいの	讃詠	545	父のみかみに
説教	『命の木に至る道とケルビム』		祝禱		
祈	禱		後奏		※信仰告白は当面省略します。

先週の「なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ(7)リビ 3:13b)」という御言葉。アダムとエバが楽園を出て行く場面と絶妙に響き合うなあ、と思ひ巡らせた。

神は「アダムを追放し、命の木に至る道を守るために、エデンの園の東にケルビムと、きらめく剣の炎を置かれた(創世 3:24)。「後ろのもの(楽園)」に戻らぬよう、天使ケルビムを関所番に据えた。

だが楽園からの放逐は懲罰ではなく、罪を負って「人間になる」ための創造の奥義ではないか。なにしろ神は「二人に皮の衣を作って着せられ(3:21)」、「自分がそこから取られた土を耕す(3:23)」労働する能力を与えた。「お前(アダム)のゆえに、土(アダム)は呪われるものとなった(3:17b)」と非難しながら、「お前は顔に汗を流してパンを得る、土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る(3:19)」と語る。つまり人間(アダム)の自由な試みは生涯、神のまなざしの内に在る。

かつて広く読まれた『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神/M.ウェバー(岩波文庫)』。本書はミルトンの『失楽園』から、アダムに語りかける天使ミカエルの言葉を引いている。「必要なことは、ただひたすらお前の知識に~信仰、美德、忍耐、節制~他の一切のもの魂でもある愛を加えることだ。そうすればお前もこの楽園から出ていくことは嫌とは思わないだろう。自分の内なる楽園を、遥かに幸多き楽園を、お前ももつことができるからだ」。楽園から出た人間は、こうして勤勉に働く者となった。

「命の木に至る道(3:24)」。実に魅力的だがこれは神のものであり、天使ケルビムが見張っていて近づくことができない(3:24)。だから人間は、「自分の内なる楽園」で「命の木」を無制限に育て始めた。たとえば核科学。医療などでの微応用ならともかく、兵器や原発などの巨大利用は狂気の沙汰。人間は己が楽園のどこにケルビムを置くのか。バイオやAIや地球環境の領域でもケルビムが不可欠だ。

楽園から放逐されたが、「土(人間)を耕す(3:23)」あらゆる試みは神に見守られている。しかし楽園からあまりに遠く離れてしまい、人間は「命の木に至る道」を忘れ、楽園を出る原因である「己が罪」を気にしなくなった。だからこそ私たちは、折々「きらめく剣の炎(3:24)」と共にある天使ケルビムの関所へ巡礼し、その向こうに続く懐かしい「命の木に至る道」を仰ぎ見、己が罪を静かに省みたい。

「たとえ天や地に神々と呼ばれるものがいても(1)コリト 8:5)」、実のところ「世の中に偶像の神などはなく、また唯一の神以外にいかなる神もない(8:4)」。偶像云々(8:1,4)は多様な文化の厚みなので、過敏に排斥しなくともよい。私たちは大らかにこう思う。「わたしたちにとっては、唯一の神、父である神がおられ、万物はこの神から出、わたしたちはこの神に帰って行く。また唯一の主、イエス・キリストがおられ、万物はこの主によって存在し、わたしたちもこの主によって存在している(8:6)」。

人間は「善悪を知る木の実」を食べ(創世 3:7)、神の楽園から放逐され、様々な冒険をし、やがて神の御許へ還っていく。私たちは唯一のキリストと共に存在している。その時には、キリストが同道してくれるので、関所番のケルビムは道を開ける。そして「命の木(3:22)」の実を食べることになる。

罪を負うことと主体性は不可分 私は罪を負って他者とは違う私になった 勤勉な冒険をし 自らの楽園に植えた「命の木」 危険な偶像なのか 私たちを放逐した神の創造の奥義なのか 不可解

本日礼拝後に役員会があります。聖書研究会 2/13(土)1:30~3:00。メテオ・カフェ 2/20(土)1:30~3:00。今年度、山梨分区活動はほとんど休止したが、信徒会や教誨師は活動したので一部だけ委員会あり。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。